説明的文章 指示語の内容の捉え方

世の中のすべての生物が、ナンバー1になれる※ニッチを探し求め、他の生物とニッチが重ならないようにニッチをずらしていく。これが「ニッチ分化」または「ニッチシフト」と呼ばれる現象である。そして、ジグソーパズルのたくさんのピースのように、たくさんの生物によってニッチが埋められているのだ。

どんな生き物も、ナンバー1になる場所がなければ生きていくことができない。

それでは、弱い生き物は、どのようにしてジグソーのピースを手に入れれば良いのだろうか。

どんな生き物も、ニッチを得るためにはナンバー1にならなければならない。弱い生き物はニッチを欲張ってはいけない。大きなピースを埋め込むことは難しいが、小さなピースであれば、はめ込むチャンスが生まれる。

たとえば、百獣の王として、サバンナでナンバー1になることは難しくても、他の動物が寝静まった夜に行動すれば良い。ただ、夜に行動する生き物は他にもいるから、①それだけでナンバー1になることは難しい。そうであれば、他の生き物は見向きもしないような土の中のミミズを食べるニッチがある。②それがサバンナのハリネズミのニッチである。このニッチでハリネズミはナンバー1である。

このように条件を小さく狭く、細かくすれば、限られたニッチの中でナンバー1になれるチャンスが生まれてくるのである。

（稲垣栄洋『弱者の戦略』新潮社　による。一部表記を変えた箇所がある）

※ニッチ…すきまの領域。ここではある種の生物が生息する環境、その種の生態的な地位のこと。

指示語の読み取り

説明的文章では、言葉や内容の繰り返しを避けるために**指示語**がよく使われる。指示語が表す内容は、次のようにして捉えるとよい。

①指示語を含む文に注目し、指示語の内容を押さえる。

②指示語が指す内容を探す。

・多くの場合、指示語の指す内容は指示語の前にある。

（例）私には大事にしている宝物がある。それは祖父からもらった時計だ。

・後に続く内容を指す場合もあるので注意する。

③探した内容を指示語に当てはめて、意味が通じるか確かめる。

（例）（私が）大事にしている宝物は祖父からもらった時計だ。

例題

――線「これ」が指している内容を、解答欄に合うように文章中から四十五字以上、五十字以内で探し、最初と最後の三字を答えなさい。

生物が、（　四十五字以上、五十字以内　）現象。

□□□ ～ □□□

確認テスト　本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ――線①「それだけで」が指す内容となるように、解答欄に当てはまる言葉を本文中から六字で書きぬきなさい。

□□□□□□だけで

(2) ――線②「それ」とは何か。本文中から三十字で探し、最初と最後の三字を答えなさい。

□□□ ～ □□□

(3) 弱い生き物はどのようにしてニッチを得ているのか。本文の内容に合うものを選びなさい。

ア ナンバー1（ワン）になるのではなく、欲張らずに他の生物たちと同じニッチの中で生きるようにしている。

イ サバンナのような大きな環境でナンバー1（ワン）になれるよう、他の生物にはない強みをもつようにしている。

ウ 行動する時間や食べものなどの条件を小さく狭くし、限られた中で他の生物と重ならないニッチを得ている。

〔　　〕